

川越・東松山民商 春の運動ニュース R4/1/12 NO.1

川越市小仙波町 3-15-5 Tel.049-222-4344 FAX 049-225-0340

民商の新ホームページ <http://www.kawagoehigasimatuyama.org/>

集まって話し合い相談し助け合う、 「あったか民商」で要求実現！

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

年明けから、新型コロナウイルスのオミクロン株が急拡大し、新たな感染の波が起きています。

岸田政権の社会保障削減と大軍拡で、国民には冷たく危険な予算案

岸田政権として最初の当初予算となる2022年度政府予算案が閣議決定されました。成立した21年度補正予算と一体で、補正と当初をあわせた歳出規模は143・6兆円に上ります。莫大（ばくだい）な税金を投入しながら、新型コロナウイルスの感染拡大に対応する医療機関や暮らしへの支援は不十分で、社会保障予算は高齢化による自然増を削減や病床削減の推進も盛り込まれています。

10年連続増額で過去最大の軍事費は、補正と合算すると6兆円を突破します。岸田政権が前のめりになっている「9条改憲」の動きとも連動し、日本を「戦争する国」に引きもどす危険な企てです。

コロナのなかで、日本の消費税に当たる「付加価値税」を減税する国が相次いでいますが、岸田政権はそうした要求にも応えようとしません。低所得者ほど負担が重い逆進的な消費税は、安倍晋三政権下の度重なる増税で、税収に占める割合は20年度以来3年連続最大の税目になる見込みです。岸田政権は大企業向けには「デジタル」化などの名目で減税します。大資産家向けの金融所得課税の見直しはやりません。税の不公平は拡大するばかりです。

岸田政権の新たな危険が浮き彫りになる中で、国民に冷たい予算の組み替えを求め、世論と運動を強めることが急務です。軍事費を削って、暮らしと福祉、教育の予算を増やせ。消費税減税を一いまこそ声を上げましょう。

会員同士のつながりを深め、「会員同士がわかる班・支部」に

2年に及ぶコロナ禍で外出自粛によって、役員から支部会員への声掛けや学習会の開催など取り組むことがほぼ出来ませんでした。しかし経済情勢、政治への不満、他業種の状況などを、語りたい・聞きたい・交流したい会員が大勢います。

1月の後半から確定申告を見据えた班会学習会が始まっていきます。コロナ禍の収束が見えない中ですが、今年は感染対策に留意し班会など学習・レクリエーションを開き、会員同士の横のつながりを深める1年にしていきます。

ほとんどの会員さんは、どのお店、どこの人が同じ支部なのかを把握していません。月に1度、会員が集まれる日をつくり、継続させます。

支部役員と新会員の橋渡しを強化し、コロナ禍で薄れた「つながり」を深めます。「つながり」から新たな会員紹介も生まれます。会員訪問もして、会員同士の顔が見える運動を進めていきます。その中で会員の要求を集めていき、自治体への請願にもつなげていきます。

民商運動は、会員同士の結びつきを強め、身近な要求を解決できる相談を広げて、活動参加を増やすことで発展してきました。ぜひ班会などに積極的に参加をしてください。

春の班会 相談員学習会開催のお知らせ

1月の後半から各地域で行う班会学習会に向けて、相談員学習会を開催します。年末に郵送で皆さんに送った自主計算パンフレットを活用して、情勢の学習と確定申告書の控除部分を学習していきます。

事務局が2人体制で、班会の運営にぜひ力を貸してください。

※班会学習会と違いますのでご注意ください。

【日程】

1/20 東松山センター 19時～

1/21 川越事務所2階 19時～



埼玉商連決起集会開催「コロナ危機打開、消費税を5%に戻せ」 春の運動を成功させよう

1/8（土）、埼玉商連決起集会がクレープのすにて開催され、91名が参加しました。

岩瀬会長から、引き続きコロナ禍で苦しむ中小業者を「一人も取り残さない」、民商の力を最大に発揮し春の運動を成功させようといさつ。

日本平和委員会常任理事の川田忠明氏による記念講演も行われ、改憲ではなく憲法を生かして平和をも守ろうと話されました。



編集後記 年明けから、新型コロナウイルスのオミクロン株による感染者が急増しています。昨年は1/12から緊急事態宣言に入ったのを思い出します。引き続き感染対策をし、相談活動に取り組んでいきましょう。確定申告の時期になります。1月の後半から班会学習会を、2月上旬から書き込み班会を行います。来年の集団申告は3/11になります。早めの帳簿のまとめを心がけていきましょう。